



東広会ニュース

2月号

2005年(平成17年)

Vol.8

発行所 東京都渋谷区恵比寿南
1-5-5JR恵比寿ビル10F

東日本鉄道東京広告会

電話 03(5447)7855

E-MAIL info@tokokai.jp

活性化する交通広告

栗本周二J企取締役交媒局長に聞く

平成17年度の商品計画(本紙12月号に概要掲載)が、昨年12月に発表され、各広告会社では、精力的に新商品の販売に力を入れている。また最近車両メディアと駅メディアを組合せ「交通広告」を核とした話題性のある創出などが目立っている。そこで栗本周二J企交通媒体局長にいろいろな話題を聞いてみた。



語る栗本局長

— 来年度の商品計画で、長い間使われてきた駅ポスターセットの名称や商品構成が大きく変わりますか？

栗本 近年低迷している駅ポスターで大幅な商品見直しを行いました。これは、需要にあわせセット商品を「駅ジャック型」「主要ターミナル駅のセレクト型」「山手線網羅型」「リーチ獲得の広域型」の4つのカテゴリに分類し、商品名もカテゴリに沿ったネーミングに改めました。

— 今回の新商品設定や料金見直しで、広告会社にとっては、売りやすくなったとの話を聞いています。交通広告が活性化してきているようですが……

栗本 これができるようになった背景は大きく分けて3点あると思います。その第1点は、車両メディアの完

全オープン化の実施です。これによって広告主、広告会社の新規参入があつたばかりでなく、交通広告の柔軟な商品設定が可能となり、交通広告とマス媒体のメディアミックスが実現しやすくなったこと、車両メディアと駅メディアを組み合わせた交通広告の総合的なキャンペーンが増加してきています。

第2点は、JRの駅改良工事に合わせ、「サインボードのモジュール化・大型化」等による駅メディアの価値向上が図れることです。広告環境面での整備を推進することで視認性を高め、JR利用者と広告主のニーズを満たすことが可能となります。また、増加するキャンペーンニーズに対応するため駅ポスターやSPメディアなど「短期活用できる媒体」を増やし、加えて新商品の開発も行いました。

第3点は、東京メディア・サービスの役割分担を見直す広告事業再編に

より、交通広告媒体の設備を当社が所有・管理することになったことです。これにより今後は、当社が、開発から販売まで一元管理していきます。柔軟な料金設定などきめ細かな運用が可能となり、また新規媒体設置はもちろん新たな企画や素材による媒体開発も主体的に行うなど媒体環境の整備を進めていきます。

— 最近話題性のある広告が駅や車両広告に登場していますね……

栗本 「車体広告」は、昨年9月からのフリーデザイン導入でダイナミックなクリエイティブが可能になり、今年度は売上が倍増しました。「トレインチャンネル」は、満稿状態が続いています。この4月に山手線全編成が新車となりませんが、掲出車両の拡大にともないレギュラー広告主に加え新規広告主の出稿も拡大しています。また交通広告ならではの販売促進機能をより活かすプロモーション、例えば東京駅で展開したBMWの実車展示などを昨年から実施しました。これまで制約のあった空間を積極的に利用することで新たな取り組みが可能になったと広告主から高い評価をいただいています。

今後、更に新規媒体の開発、企画商品の設定など、積極的に取り組んでまいりますので広告会社のお layered ご支援をお願いいたします。

鉄道広告史上初！全国14電鉄で受験生応援電車走る！

春に先駆け一足早く各地でサクラが満開！

ネスレコンフェクショナリー(株)では、同社の「KitKat(キットカット)」のキャンペーンをJR東日本をはじめ全国14電鉄で1月から2月中旬にかけ一斉に行われた。

全国7地区14電鉄各社で計34編成の受験生応援電車が運行された。

これほど多くの電鉄が同一のキャンペーンで広告貸切電車を行ったことは過去に例がなく、鉄道広告史上初めての展開となった。

車内は「サクラ満開」のビジュアルと、先生・父兄・ホテルマンなど日頃受験生を支える人々からの応援メッセージで埋め尽くされ、「きつとサクラサクよ！トレイン」は、受験生の不安と緊張を



山手線キットカット車体広告

きつとサクラサクよ！トレイン運行スケジュール

エリア	電 鉄	きつとサクラサクよ！ トレイン			※2 車体広告	
		路 線	編成数	運行予定期間※1	実施の有無	
札幌	札幌地下鉄	南北線	1	1/14～1/27	○	
仙台	仙台地下鉄	南北線 (中町広告ジャック)	1	1/19～2/1	—	
東京	JR東日本	山手線	1	1/16～1/31	◎	
		京浜東北線	1	1/30～2/13	◎	
		中央線快速	1	1/30～2/13	◎	
		銀座線	1	1/16～1/31	◎	
	東京メトロ	丸の内線	1	1/16～1/31	◎	
		小田急	小田原線ほか	4	1/16～1/31	—
	京王	京王線ほか	3	1/16～1/31	—	
	東急	東横線	1	2/1～2/15	◎	
		田園都市線	1	1/31～2/14	◎	
	東武	伊勢崎線 (日比谷線乗り入れ)	1	1/16～2/15	◎	
		東上線	1	1/16～2/15	◎	
	名古屋	名鉄	主要線(通勤車両)	2	1/10～2/9	◎
			主要線(特急車両)	2	1/13～2/14	—
大阪	JR西日本	大阪環状線	1	1/10～2/9	◎	
		東海道・山陽線	1	1/15～1/31	—	
	近鉄	奈良線	1	1/15～2/3	—	
		京都線	2	1/15～2/3	—	
広島	広島電鉄	市内線	1	1/14～2/13	◎	
福岡	JR九州	福岡電車 (鹿児島本線)	1	1/16～2/12	◎	
		筑肥線 (地下鉄乗り入れ)	1	1/16～1/27	—	
	西鉄	天神大牟田線	2	1/14～2/14	◎	
		宮地岳線	2	1/14～2/14	—	
サクラサクよ！トレイン総編成数			34	車体広告編成数		

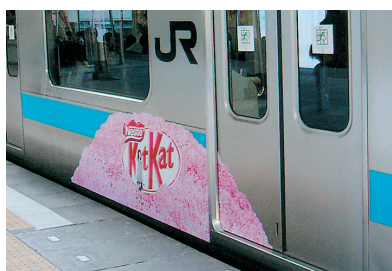
※1:運行スケジュールは予定のものを掲載しています。諸々の事情により変更される場合があります。
※2:車体ラッピング広告の展開期間と車内広告展開期間に多少のずれがある場合もあります。



山手線キットカット車内広告



中央線キットカット車体広告



京浜東北線キットカット車体広告

少しでも取り除き、勇気を与えたいとの願いが込められているとのこと。

さらに、車体広告もJR東日本の山手線(1月16日(日)～1月31日(月))、京浜東北線(1月30日(日)～2月13日(日))、中央線快速(1月30日(日)～2月

13日(日))を含め、10電鉄17編成で登場し、「サクラ満開」の車体で受験生を応援した。

この広告企画は「キットカット(きつと勝つ)」が、受験のゲン担ぎグッズとして流行しているのを受けて、全国の受験生をより身近で応援したい、との願いから関東・関西だけではなく別表のような展開となった。

大宮駅リニューアルオープン 通過するだけの駅から

人々が集い、楽しめる駅へ

大宮駅では21世紀の新しい駅づくりに「ステーションルネッサンス」の一環として「駅構内開発小売業」という新しいビジネスモデルによる開発第一号である「ecute(エキュート)大宮」が、3月5日(土)に誕生する。「通過するだけの駅から、人々が集い、楽しむことができる駅」へと変貌する。同様な取り組みは品川、立川両駅構内でも進められている。大宮駅の新規開発面積は約5000平方メートル。東西自由通路に面した南側(さいたま新都心方)に人工地盤を敷き詰めて、新たな駅構内を生み出した。これに伴い「拠点駅整備工事」が行われていたJR大宮駅では、サインボード30面が新設された。内容は自由通路に17面、東口に4面、幹西改札外に9面、いずれも電額となっている。申し込みは既に締め切られたが、3月5日(土)にはリニューアルオープンされた大宮駅に、これらの新設媒体が登場することになる。詳しい内容はJ企交通媒体局サインボード部(TEL03-5447-7884)まで。

世界最長級 “ツナガリ” 広告出現

東京駅丸の内地下「アートロード」に！

JR東京駅丸の内地下自由通路（アートロード）に「世界最長に挑戦する約311メートルも及ぶ「ツナガリ」広告が出現する。クライアントはマツダ(株)で、2月15日(火)から2月28日(月)まで掲出される。

これはクライアントのマツダ(株)が「新型 マツダ プレマシー」発売記念のプロモーション企画の一環として制作するもので、世界的なフォトグラファー

篠山紀信氏が60組の家族をモデルとし、撮影したもの。

これまでの世界最長広告の記録は、イタリア・ローマで実施されたオペラ開演告知ポスター(長さ274メートル、高さ2メートル)とされており、大きな話題を呼ぶものと思われる、東京駅丸の内地下自由通路「アートロード」が交通広告媒体としても注目を集めることになりそうだ。

サインボードにポケモンの意匠

最近、いくつかの駅でポケモンの可愛い意匠の入ったサインボードを見かける。これは、媒体社であるJ企自ら、返還サインボードに掲出する美観意匠を、より注目を集め、媒体

価値を高めようとする狙いから始めたもの。写真のようにグリーンをベースに「ホームでは、黄色い線まで下がってね」「みんなのえき、いいマナー」等のマナー表記もされ、ソフトなタッチでしつかりと媒体価値をアピールするものとなっている。



サインボードにポケモン

る。今後、東京だけでなく県庁所在地でのポケモンビジュアルの展開も計画されており、サインボードの販売促進に寄与するものと思われる。

上野駅にサインボード3面を利用

ストーリー性のある新機軸の展開！

JR上野駅京浜東北線北行ホーム(田端方)に隣接する3面のサインボード意匠がストーリー性をもった展開となっており注目を浴びている。



上野駅京浜東北線北行ホームに掲出

当初は北行線側1面に『中央動物専門学校』で掲出されていたが、扱いの(株)ニューアド社では、隣接する2つのサインボードに返還が出たところから『中央工学校』『アクト情報ビジネス専門学校』の広告も掲出し、「中央工学校グループ」のグループイメージを創出している。今までのサインボードのように、一目見るだけで、何の広告かわかる、という要素よりも、3面をうまくつかってストーリー性を持たせ

ることに主眼を置く、というクライアントの要望にも応えるものとなった。

サインボードの返還媒体が増加する状況下で、創意と工夫次第でビジネスチャンスが広がる可能性があることを示唆している。

Suicaを使った新しい交通メディア「Suicaポスター」登場！

2月22日(火)より上野駅1Fグランドコンコースで行われるSuica利用促進イベント「Suicaステーション・うえの」の一環として、「Suicaポスター」が試験的に展開される。

現在の駅ポスターは、注目してもらうために表現やインパクト、イメージを重視しているが、「Suicaポスター」は、これまでの機能に加えて、ポスターにSuicaをタッチするだけで、その商品の「詳細情報やお得な情報」が携帯電話に配信されるような新しい広告媒体であり、媒体価値がさらに向上すると考えられる。

インターネットやデジタル放送で拡大してきたインタラクティブな広告手法が、JRの駅という、生活に密着したリアルな空間で初めて展開される。

事故防止へ各種会議開催

安全こそ交通広告の基本 第1回登録23社事故防止会議

線路近接作業等を行う23社を対象にした「登録23社事故防止会議」が東京・池袋の(株)東京メディア・サービス本社会議室で1月24日(月)14時から行われた。会議には、島田亮J.R.東日本事業創造本部資産活用部門広告グループリーダー課長、長谷川武夫J企交通媒体局次長、石山忠光J企交通媒体局設備安全対策部長、橋本谷弘司東京メディア・サービス設備管理部部長等が出席し挨拶した。

実際に作業を行う23社各社担当者は、安全に対する日頃の心構えについて各氏の挨拶を真剣に聞いていた。

特に、J.R.西日本の新大阪駅で発生した看板の清掃作業員の触車死亡の事故が取り上げられ、日頃、線路内で作業を受け持つ23社の社員は、安全への強い認識をより深めていた。

また、年末年始輸送期間中の立会い・安全パトロールの結果について、東京メディア・サービスの担当者から注意喚起が行われた。

特に、事故事例については、日頃の業務に直結することもあり、質問などを含め熱心な討議が行われた。

“安全確認の励行”を 第2回作業責任者安全講習会

駅構内で作業を行なう責任者に対する「安全講習会」が、東京メディア・サービス設備管理部安全指導課の主催で、2月2日から10日までの7日間J.R.板橋駅訓練室で開催された。受講者は、広告会社関連の社員だけでなく、駅構内で調査などを行なう社員など約1200名を越えた。

今まで安全の講習会は、J企主催で開催されてきたが、昨年の12月広告業務の再編に伴い東京メディア・サ



あいさつする石山J企交媒局設備・安全対策部長

ービスが担当することになり初めての講習会となった。こうしたことをふまえ特別にJ企交通媒体局の石山忠光設備・安全対策部長も出席し、「業務移管したからといって安全に関しても、東京メディア・サービスと一緒に事故防止に努力していく」と強調した。またこの1月J.R.西日本管内で発生した看板清掃の作業員が触車死亡した事故にも触れ「原因は、作業責任者が、高速貨2054列車(偶数は上り列車)を『下り列車』の見張りを指示すべきところを新大阪駅の番線と列車方向(列車番号から上り列車)を勘違いし、列車監視員を大阪方の『上り列車』の見張りを指示したためである。勘違いは、人間はだれでもあるが、慣れからきた油断でもあるので、くれぐれも事故防止に万全を期してもらいたい」と語った。

また東京メディア・サービスの橋本谷設備管理部長は「事故を起せば、個人でなく、会社あるいは、広告を担当する全社に影響することを心に置いて、絶えずチェック、確認を励行し現場作業に従事していただきたい」とあいさつした。

この後、最近の事故事例として「十字型フラッグの落下(支えのピアノ線が老朽化、強風で断線)」などが紹介された。

会員名簿変更

・代表者変更

①(株)マキヤンエリクソン(1月1日付)

代表者 ケビンラムジー氏

②(有)大 宣(1月14日付)

代表者 大森雄二氏

FAX 0463236100

・所在地変更(2月14日付)

(株)京王エージェンシー

〒160-8318

東京都新宿区西新宿1-9-1

明治安田生命新宿ビル8F

電話 03-333488604

FAX 03-3532618996

・退 会

(株)アドブ(2月28日付)

代表者 大久保偕美氏

(合併により退会)

・代表者名欄訂正(役職)

(株)興国エージェンシー

取締役交通広告部門

統轄執行役員

お知らせ

第4回理事会

3月16日(水)14時から

J企会議室にて

東日本鉄道東京広告会通常総会

4月22日(金)14時から

ホテルメトロポリタン